

ジャパンハウスについて

会員の皆様へ、

ジャパンハウスの設立予定と寄付金の状況

秋冷の候皆様お元気にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

夏も過ぎてジャパン祭も終りこれから益々寒さが近づいて参りますのでお大事下さい。

さて昨年の 6 月 27 日に皆様にご案内させて頂きましたが、「ジャパンハウス設立基金への募集のお願い」は早くも一年が過ぎて今般年次会費のご案内と共に第二回目の募集のお願いもさせて頂きました。多数の会員の皆様から多額のご寄付を賜りありがたく厚く御礼申し上げます。

本日現在での集計は下記の通りであります。

- 1) 昨年: 106 名 金額£24,842.24
- 2) 本年: 47 名 金額£2,797.00
- 3) 合計: 金額£27,639.24

内訳はお一人数+ポンドから大口では£5,000 を超える募金、日本円で 50 万円のご寄贈もございました。又毎月自動振り込みで一口 5 ポンドずつ寄付をご継続されておられる方も御座います。全てが皆様のお支えであります。改めて感謝と共に御礼申し上げます。

さて次にジャパンハウスの設立に関する動向、方向性はどうなっているのだろうか? というお問い合わせが御座います。既報にてご存知の方もあられるかとは存じますが茲に現況をご報告させて頂きます。

昨年の 6 月 27 日に数年来「日本センター」を企画検討をしていました我々英国日本人会は名称を「ジャパンハウス」と変更して募金活動を始めました。

翌月の 7 月 28 日の読売新聞が一面トップで[和食・漫画発信拠点]政府、世界各地に建設へーロンドンに第一号ーと大々的に発表されました。

我々が草の根で考えて実施にやっと踏み切ったその翌月に日本政府の肝いりで“ジャパンハウス”の建設が発表されたのは一つのご縁でも有りましょうかー、

爾来一年が過ぎ去り、政府(外務省)では予算も決定され既に運営会社の最終決定にはいつておられるやに伺います。日本政府が運営コストを負担され民間会社に運営を契約で委託し、それが運営は「ジャパンハウス運営委員会」(委員は 5 名の英国人、日本人は大使を含む 4 名)ー女性 2 名ーによる運営方針に基づいて委託された運営会社事務局(館長、事務局長他 15 名位)が運営に当たる、と言う方針です。尚「有識者アドバイザー」と言う制度も運営委員会の外に作ってアドバイスも得ると言うこ

とに成っておるようです。運営委員会の委員には残念ながら当会は選から漏れています。当会の会長は多分に有識者アドバイザーとしてアドバイスを求められるかと思えます。

政府のジャパンハウスの設立運営目的:

- 1) 「戦略的対外発信の強化」ー日本の正しい姿の発信、日本の多様な魅力の発信、親日派・知日派の育成ー
- 2) 上記の為に「オールジャパン」で発信する拠点を作るで有ります。
- 3) 具体的な施設の内容は: セミナールーム、展示スペース、マルチメディアスペース、アンテナショップ、カフェレストラン、情報サロン等があります。
- 4) 各政府機関の拠点を集約ー多分に政府系の既設機関を収容させて効率化する。
- 5) 現地のニーズを踏まえた発信拠点ー現地の声を反映、市内一等地でのオープンな施設。ーなどです。参考までにですが世界の他地域でサンパウロだけは“日系社会と連携し”と言う注釈があります。

英国日本人会がこの「ジャパンハウス」に期待できるもの:

基本的には政府の情報発信基地が基本です、ですから**今後の運営状況、施設の設置状況を待たなくては判断が難しい**と思えます。ただし、施設の会議室は優先権は取れないでしょうが部屋数、費用、時間、設備、利用条件(歌は歌えないか? 土日の利用は?) とか多くの疑問と共に利用のチャンスも有りましょう。我々の事務局を借りられたら最高だがこれは今の設置目的からでは難しいかも知れない。

では我々はどの様に“我々の求めるジャパンハウス”を今後志向して行くのか??

我々は元々政府の計画は全く知らず、永年掛かって自前のハウスを持ちたいとこの企画を造り募金活動を始めました。従ってー確りと我々の現状と今後の政府のジャパンハウスの動きを注視しながら、我々が**“皆で何時でも集まって日本人同士も英国人達とも集い交流のできる場所”**を求め続けるーこれが現状での会員の皆様にご報告できる内容で有ります。

今後も折りに触れて皆様へご報告をさせて頂きますので、ご質問等が御座いましたら理事なり事務局なりにお尋ねされてください。皆様と共に益々相互互助と健康増進で幸せな英国生活に邁進して参りましょう。皆様のお幸せを祈りつつご報告に代えさせていただきます。

佐野 圭作
英国日本人会 会長

ヘンドン日本人墓地秋の清掃



恒例、秋の墓地清掃、供養を **11月7日(土)** に行います。ご都合のつく方はお手伝いをお願い致します。共にご参詣下さい。

当日はゴム手袋、庭仕事用具があれば有益です。終了後、希望者の方は近くのコーヒーショップにて軽食をご一緒致しましょう。

開始時間：11時ごろより。

場所：Hendon Cemetery & Crematorium
Holders Hill Road, Mill Hill, London NW7 1NB
地下鉄 Mill Hill East (Northern Line) 下車、徒歩約 10 分

バス Golders Green 駅より 240 のバス利用
ヘンドン墓地バスストップより徒歩約 3、4 分
お天気具合によって中止も有りえますのでご心配な方はご連絡ください。

Tel: 020 8208 0408、

Mobile: 07930 455 028

japanesecemetery@japanassociation.org.uk

藤田 (JA 墓地管理部)

☆ ☆ ☆

加藤節雄さんが外務大臣表彰受章

JA 会員の加藤節雄さんが今年度の外務大臣表彰を受章し、10月13日(火)に、日本大使公邸で受章式とレセプションが開催された。フリーのフォトジャーナリストとして、英国のことを日本のメディアや自著を通して日本人に紹介したことや、「日英タイムズ」を通して在英日本人社会に貢献したこと、また、コーンウォールのバーナード・リーチ工房復活やロンドンの日本庭園修復作業といった日英交流事業等を手掛けたことなどの功績が評価されたもの。加藤さんは JA 発起人の一人で、現在は日本クラブ理事、会報の編集長を務めている。

【写真は加藤夫妻と林駐英日本大使夫妻(日本大使館提供)】



☆ ☆ ☆

10月の紙人形会報告

数ヶ月間欠席していたメンバーが戻り、賑やかにそれぞれ好みのお人形を作成しました。先月の会報でお人形の写真を見た病気療養中の益江さんからの希望があり、立ち人形を作成して後日ホームに届けて上げましたら、とても喜んでおりました。11月の紙人形会は13日(金)です。材料費2ポンド、雑費1ポンド 連絡先：

h.nabeshima@btinternet.com

☆ ☆ ☆

10月二水会の報告

10月の二水会ではファイナンシャル・アドバイザーとして活躍されているドゥルリー和枝さんに英国の年金制度についてお話を頂きました。来年2016年4月より英国での国民年金制度が大きく変更になるようでとてもタイムリーなトピックでお話頂き参加者も有意義な講習会となったという声がとても大きかった。

日時：10月14日(月)18時半より

会場：日本クラブ(Southwalk)

演題：「英国年金の仕組み」

講師：ドゥルリー和枝 APFS Chartered Financial Planner

最初に現行の英国国民年金制度の概要を説明頂き、2016年4月6日以降の New Single Tier Pension についての説明をしてもらいました。ポイントとしては下記のようなようです。

(1) Basic State Pension: £151.25 per week へ上昇

(2) 満額受給権は35年NIC支払要

(3) 10年以上のNIC支払で受給権発生

(4) NIC支払履歴のある本人のみが対象

(NIC履歴のない配偶者への受給停止)

(5) 被雇用者に支給される Additional

State Pension の廃止

現行の国民年金では基礎年金と被雇用者年金の2階建ての年金システムであったが新制度では Basic State Pension に統合される。またフルでの年金受給を受けるには National Insurance Contribution(NIC)の支払期間が30年であったのが、35年になった。更に年金受給に必要なNICの最低支払期間は1年以上であったものが、2016年4月6日以降は10年に変更となる。従来配偶者の Basic State Pension の60%程度を受給できていたNIC履歴のない配偶者は2016年4月までの権利は留保できるもののそれ以降の権利はなくなる。ただし、National Insurance Credit(Child Benefit 受給者、Maternity Pay, Sick Pay)を得られれば、Basic State Pension 向けNIC履歴になる。Basic State Pension 受給に必要なNIC履歴を蓄積するには Class 3 NIC Voluntary Contribution や収入の少ない自営業者(Self Employment)向けの Class 2 NIC Contribution などもあるそうです。

英国国民年金は日本に帰国した後でも受給が可能であるのでNI番号を保存する事。日英社会保険協定により、いわゆる'カラ期間適用'があったり、Class 3 NIC Voluntary Contribution(現行費用; £14.10 per week)を利用することで有利になることもあるそうだ。詳細なアドバイスは今回の講師であるドゥルリーさんのような専門家に相談されることがベストと思われる。

国民年金のみでは心基ないので、企業や個人年金を利用し本人が積み立てをする事が必要。英国の企業・個人年金は確定拠出型(運用タイプ)で積立金に個人の最高税率で税額控除が適用される。例えば

月£100の拠出に対し、20%、40%の税率の方はそれぞれ支払い額は£80.60のみで£20.40の節税になる。更に運用益も非課税。積極的に利用したい。

定年時に貯まった Pension Pot より 25%までは非課税一時金として、残りは課税にて受け取る事になります。Pension Pot からの受け取り方法は、「Annuity」、「Drawdown」、「そのまま年金からのキャッシュアウト」の3種類がある。Annuity は確定終身年金と訳されており、年金原資を払い込む代わりに、一生涯保証された年金を受領することができるものです。一方 Drawdown というプランは年金を運用しながら必要に応じて年金を限度額まで引き出すことができるものです。更に、蓄積された年金プランからそのまま引き出す事も可能ですが、一度に全部引き出すと、25%以外は総合課税されるので留意が必要です。ドゥーリーさんから定年計画に関しては周到な準備をすることがが重要というアドバイスを頂きました。準備するにあたり、下記5つのポイントを提示いただきました。

- ①定年生活に必要なとされる資金を算出
- ②資金計画を早目に立案
- ③年金商品・ISA等節税金融商品の最大限活用
- ④金融商品・運用状況の定期的見直し
- ⑤不動産の有効活用

その他として下記ホームページを確認するようアドバイスを頂きました。

国民年金に関するサイト：

*<https://www.comparepensionannuity.co.uk/state-pensions/state-pension-age-calculator>

*<https://www.gov.uk/state-pension-statement>

*<https://www.gov.uk/state-pension-topup>
確定拠出型年金受取に関するガイダンス

*<http://www.annuityadvicecentre.co.uk/>?

個別に講師であるドゥーリー和枝さんにお問い合わせをしたい方

連絡先：info@kazuedrury-ifa.co.uk
www.kazuedrury-ifa.co.uk

講師のドゥーリー様からは多くの方が関心が強い年金に関して具体的にご説明を頂きとても素晴らしい二水会となりました。(参加者 28 名)



☆ ☆ ☆

11月二水会のお知らせ

日時：11月11日(水) 18:30より

会場：St. James's Church, 197 Piccadilly, London W1J 9LL

会費：£5 (JA 会員)、£8 (非会員)

演題：ちょっとした意識転換で自己肯定を養う

「そのヒントはイギリスの乳幼児からの人づくりにあった！」

講師：津坂雅淑

プロフィール：日本の幼稚園と乳児院で教諭・保育士として12年勤務後、-1999年渡英。日系幼稚園で働いた後に、-2003年バンビーニ・ナーサリ-を設立。-2006年現地向けに保育園も併設。2004年GCC UKを設立し、独自のグローバルチャイルド育成開発に取り組む。-現在、日本の幼稚園や保育園の先生、-保護者向けに子育て全般の講演・-セミナーなど積極的に日本でも活動の場を広げている。

問い合わせ：nisuikai@japanassociation.org.uk
(二水会事務局 宮村)

☆ ☆ ☆

福祉ナルク部だより

ナルクUK主催のディメンシアフレンズ・ワークショップ報告

ナルクUKコーディネーター Whitehouse 佐藤敦子

ナルクUKは9月26日(土)に日本クラブ会議室においてDr.林まゆみ(ロンドン大キングスカレッジ老年学研究所フェロー/福祉ナルク部アドバイザー)をファシリテーターとして、認知症フレンズ・ワークショップを開催。日本では1970年に300人(人口の7%)だった100歳以上の人口が、2015年には6万人に増え、認知症有症者は500万人という驚きの統計が示された。

ワークショップの目的：認知症を正しく理解し、認知症の人と家族の良き理解者になるための研修を受け、認知症サポーターとしての資格を得ること。研修後、出来る範囲で活動し、認知症で困っている人や家族を見かけた際には「何かお困りですか?」と声を掛ける等の活動に参加する。

日本のサポーター数：2010年に450万人、2014年に540万人、現在630万人。

英国のサポーター数：2012年に日本を視察し、日本をモデルにディメンシア・フレンズ組織化され、現在は100万人。2020年には300万人に増えることが予測されてる。

ディメンシア・チャンピオン：Dr.林が資格を有するチャンピオンは、研修ワークショップを開き、参加者に認知症を学習してもらい、日々の生活で活かすことを教える。ちなみに、英国でも認知症関連の理解は高まっており、発症から死に至る期間は人それぞれで、14年以上の人もある。

認知症診断法：チェックシート、家族への聞き取り、脳のMRI等、脳の萎縮状況を医師が各種の方法で診断する。認知症が疑われる場合、GPから専門医のいるMemory Clinicに照会される。認知症の完治は難しいが、早期診断によって将来設計が可能になる。

実習：参加者はワークシートを使ったクイズ形式の作業を楽しみながら、以下の重要なキーワードを学習する：

- It is possible to live well with dementia.
- There's more to the person than the dementia.
- Dementia is not a natural part of aging.
- Dementia is caused by diseases of the brain.

言語表現の変化：認知症患者という言葉避け、英国では People living with dementia という表現に変わっている。日本でも、痴呆やボケは差別用語とされている。

認知症の方々への対応：細かな記憶が消えるとしても、心ない対応によって傷ついた際の感情は残るので、常にその方々の気持ちを尊重し、尊厳を守り、その人の力量にそってサポートすることに注意すること。お茶を用意して飲むまでのプロセスを認知症の立場から行うワークショップでは、単純作業であっても、細かく分割して説明することで、混乱を避けスムーズに作業を行うサポートをするための実践を学習した。

Q&A セッション：Q「認知症の疑いのある方が医者に行くことを望まない場合はどうすべきか」A「訪問リクエストに応じる GP もいるので確認すること。また、アルツハイマー協会に連絡を取ってみるのもよい」

Q「介護者の負担について」A「英国は Care Act があり、介護者を Care する義務があるので、介護者のサポートの会や Career's Trust などがあるので利用すべき」

最後に参加者は、Dementia Friend バッチを取得。ステップアップコースを希望する場合には Dementia Champion コースがある。

SKT88 イベントに参加して

ナルク UK コーディネータ 直子バグリー

ナルク UK 設立以来、コーディネータ役を引き受けておりますが、最近、某会員から「私たちの個人情報委託しているナルク事務局の皆さんがどのような方々なのか分からない。写真入りで紹介してほしい」といった懸念の声があり、地道に活動に参加してきた私としてはとてもショックでした。顔が見えないのは不安を与えるのだろう、もっとイベントや会報にも登場すべきだし、会報やナルクのブログなどで積極的にナルク UK をアピールする存在感を示すことが大切であると痛感しました。一方、非会員からは「ボランティア活動の内容がよくわからない」

「南部在住だけれど、ボランティア活動を受けられますか」「買い物や子供の面倒を見てもらうにしても、見ず知らずの人をお願いするのは躊躇する」

「交通費を考えると頼めない」などの声も聞こえており、真剣に対応したい、と情熱を新たにしました。早速、10月開催の SKT88 のイベントに参加してみましたが、お母様たちはすでに顔見知りやお友達で、お互い既に助け合ったりしている様子でした。こうしたシニアとキッズがミックスするイベントは、ナルク会員と非会員が現地生まれの子供たちを通じて親交を強める場になりうると思います。ナルクでも働いている人やお母さんたちを対象とするワーク

ショップやイベント（ヨガや遊びをまじえたものを週末に開催するなど）したら楽しいと思います。日本舞踊の田中先生が、日本舞踊、扇子の使い方、歩き方をご披露され、子供たちやお母さんたちはすごく楽しそうに真似ているのを見て、学習しました。現役のナルク会員が参加できるイベントのアンケート調査も今後すべき、と感じました。前向きに参加することの意義を強く感じた一日でした。

福祉コラム

意味不明の「一億総活躍社会」

里帰り中の本欄は、大げさな言い方をすれば、日本の高齢化社会の片鱗を垣間見た経験をお伝えする。60代でアルツハイマーを発症した友人にまつわる話である。ご主人が難病で急逝された74歳の彼女は、認知症有症の独居高齢者に該当する。週6日をデイケアセンターに通う。娘さんたちの1人は幼児3人、もう一人は受験生2人を抱えている。朝晩の食事を交代で届けるのが彼女たちにできる最大限の介護努力。かつては元気はつらつでふっくら美人だった容貌は、骨と皮まで痩せこけていた。「超高齢化社会像」調査によれば、2015年に独居高齢者数は566万人に、そのうち認知症有症率は15%。こうした社会現象にびったり該当してしまった友人をどれだけ嘆いても嘆き切れない。

病院も介護施設もなかった江戸時代には、家族が日夜を詰めて献身的な付添い介抱を行うのは、家族の在り方として当然だった。時は移り2015年の今も、家族の介護を理由になんと年間10万人前後が退職している。その中心は40、50代の働き盛り。待たなしで取り組まれるべき社会問題である。世論の懸念を押し切って安保法案を強行採決した第3次安倍内閣は、支持率の低下を恐れて「一億総活躍社会」という実に意味不明な政策を考案した。その中核の一つが「介護離職ゼロ」。

実情を知るため、2013年の以下のデータを確認した。介護従事者の5割強が介護開始から1年以内に離職。特に女性の3割近くが介護認定を受ける前に離職しており、そのきっかけを「自分以外に親を介護する人がいない」と述べている。平均年収は、男性で4割、女性で5割ダウンしている。介護離職の防止にはワーク・ライフ・バランスが有効ということだろう。

全国に約52万人（2013年度）いる介護施設入居待機者の要望に応え、介護を理由に離職する人を減らし、介護職員の需要を喚起することを目的として、国は首都圏で不足する介護施設を増やそうと、介護施設運営の社会福祉法人に国有地を格安で貸出す方針を打ち出した。離職を防ぐには介護施設の整備や人員の確保が急務だが、仕事内容や待遇が厳しく、希望者が少ないのが現状といわれる。

政府は、これまで一貫して介護保険サービスの縮小を進めてきた。介護報酬は過去最大まで引き下げられ、介護事業者の倒産は過去最多の件数となっている。こうした事実と相矛盾する今回の「介護離職ゼロ」の政府のスローガンは、ちぐはぐで説得力に欠ける。具体的な施策を早急に明示して欲しいものである。

東支部懇親会のお知らせ

紅葉の綺麗な秋がやってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今回の東支部懇親会もお馴染みの場所で開催いたします。他地区の皆様も奮ってご参加くださいませ！

日時：11月14日(土)

会場：HARE & TORTOISE

住所(Blackfriars支店) 90 New Bridge Street, London EC4V 6JJ

会費：£15 前後

担当者：田口晴枝、山崎栄子

連絡先：020 8858 9404

addressharue.t@hotmail.co.uk

メニューはお寿司他お好きなものをお選びください。尚、当日の緊急連絡は07840219028(田口)、12時半以降は携帯が繋がらない事もありますので直接レストランの電話02076510266までお願い致します。

☆ ☆ ☆

スケッチ会報告

10月14日(水) Wimbledonに出かけた。今年最後の屋外というのに生憎のお天気で風も冷たくまるで冬の様。しかも公園に入ってしばらく歩いていると雨が降ってきた。近くに雨宿り出来る様な大きな木は一本も無く仕方なく戻ることにした。体は冷え疲れ空腹だったのでとりあえず食事をしようという事になりバスで中心地に戻った。デパートの上階にあるセルフサービスの明るいレストランに入った。皆んなで座れる良い席が見つかり食事が進みお腹がいつぱいになるとおしゃべりに花が咲き雨は止んだがスケッチに戻る気持ちはすっかり無くなっていた。過去にこういう事は一度もなかったが今回は特別に宿題にしようという事で話はきまり早めの解散にした。という事で写真に撮った景色を参考にそれぞれが家で描いた。紅葉が始まり陽が当たると赤や黄色が芝の緑に映えて美しい。秋は本当にスケッチにも力が入るが天気だけはどうしようもない。まあこういう事があってもいいだろう。私達の第一の目的は先ず外に出よう、そして何かをやろうという事なのだから....。



クーパーのり子



竹内みどり



グリープス邦子



山本郁子



全員集合

☆ ☆ ☆

理事会だより

10月7日(水) 17:30-20:00 第187回定例理事会が開催されました。

討議内容：

- ・各部実績と予算について
- ・来年度年会費について(継続審議)
- ・同好会のあり方 iPad についてはネットによる孤立化防止の一方で生活の自立を支える福祉部的意味合いがある事を確認し予定補助もあり得る
- ・祭り JA ブース売り上げ£1424.59 経費込み経費未確認です
- ・JH 基金の進捗状況と今後について(継続審議)
- ・欧州日本連絡会パリ大会 European Network of Japanese Associations (ENJA) と次回ストックホルム大会。高齢化問題で決定
- ・紅葉会新会場と予定
- ・二水会の予定
- ・文集秋号発送
- ・広報部 SKT88、ブログ立ち上げ
- ・11月7日墓地清掃
- ・忘れな草は順調に進んでいます

記録: 上田

☆ ☆ ☆

会員部からのお知らせ

2016年度の会費納入の期限は9月30日(水)でしたが未納の会員がいらっしゃいます。未納の方は早急に小切手(会費プラス延滞金(2ポンド)を加算した金額)に会費納入連絡票を添えて返信用封筒でお送り下さい。振込の場合も会費納入連絡票のみご返送ください。又退会を希望される方も必ずご返送願います。以上、ご協力の程宜しくお願い致します。

『4月?7月会員増強月間では新入会員ウエルカム茶話会を予定しておりましたが諸事情の関係で中止にさせていただきますのでご報告、並びにお詫びします。』

新入会員：ムヅツ千穂(587)、黒木健(588)、マター光子(589)

退会会員：山本和明(500)、吉田カヨ(379)、徳永秀雄(183)、大友亜紀子(484)、オクル修子(505)、堀江美佐子(551)、大野千津子(363)、石黒 静子(140)、江口ミナ代志子(436)、伊藤隆(360)、岡村光雄・照子(228)、於ツノ恵子(540)、吉倉隆治(561)、大島妃陽(566)、森田裕美(516)、菅原さゆり(547)(敬称略)

現在会員数：292名

尚、組織・会則が欲しい方は配信しますのでご連絡下さい。

07931 534 166 会員部長 飛田まゆみ
membership@japanassociation.org.uk

☆ ☆ ☆

紅葉会 11 月のお知らせ

日時：11 月 26 日（木）14 時より（開場 13 時）

会場：Bloomsbury Baptist Church 4 階

住所：235 Shaftesbury Avenue, London WC2H 8EP（最寄駅 Tottenham Court Road）

演題：「幕末—明治期の軽業見世物興行とジャポニズム」（仮題）

講師：小山 騰（とおる）

元ケンブリッジ大学図書館日本部長

会費：会員£4.00 非会員£5.50

担当者：ウィンター千津子

連絡先：winter@japanassociation.org.uk

11 月は、1985 年より今年の 9 月までケンブリッジ大学図書館で日本語コレクションを担当なさった、小山先生のお話です。ロンドンのナイツブリッジに 1885 年（明治 18 年）1 月に開業したロンドン日本人村は、四ヶ月で二十五万人の入場者があるほど繁盛した。同じ時期に開演したギルバートとサリヴァンのコミック・オペラ『ミカド』の人気とあいまってロンドンにある種の日本ブームを引き起こした。そのロンドン日本人村の仕掛け人である タナカー・ブヒクロサンについて、その正体が以前から不明であった。最近先生が出版した『ロンドン日本人村を作った男』で、そのタナカー・ブヒクロサンが、実は幕末日本に英・仏公使館の書記官兼通訳として滞在したフレデリック・ブレックマンというオランダ人であったことを明らかにした。そのタナカー・ブヒクロサンとロンドン日本人村について。質疑応答の時間も設けたいと思っておりますので、皆さん、これから寒くなり、お出かけになるのが億劫になることと思いますが、是非、奮ってご参加ください。

☆ ☆ ☆

同好会からのお知らせ

1、開催日 2、場所と時間 3、住所 4、詳細 5、担当者 6、（予）要予約・要連絡・参加希望

<ウォーク>

11 月は休会となります。アイデアのある方はおしらせください。

<スケッチ>

- 1 11 月 11 日（水）
- 2 Royal Festival Hall 1F Cafe の前 11:30
- 3 South Bank
- 5 竹内 07774 476 293
- 6 自由参加

<カラオケ>

- 1 11 月 5 日（木）
- 2 13:00—16:00 カラオケ エポック
- 3 30 Brewer Street, London W1（徒波書房）の奥
- 4 懐メロ、唱歌合唱団
- 5 竹内 07774 476 293
- 6 要予約

<スマホ、iPad/iPhone>

- 1 11 月 10 日（火）、11 月 24 日（火）

2 14:00—16:00 あべのレストラン地下

3 47 Museum Street, London WC1A

4 Wi-Fi の接続の仕方とアプリダウンロードとその使い方などモニターで説明予定。

講師なしの情報交換の場です。初心者、中上級者の方も一緒に楽しく皆んなで情報を披露しあいましょう。

5 上田、浜口

6 自由参加（JA 会員のみ）

<映画鑑賞>

1 11 月 17 日（火）

2 13:00—16:00 Farm St. Church 別館

3 114 Mount Street, London W1

4 彼岸花（小津安二郎監督）

30 名位入場可能 会費£3~£5

場所も設備も大変よいのでお勧め。

5 渡辺 07783 426 113

竹内 07774 476 293

6 要予約

☆ ☆ ☆

俳句を学ぶ会からの報告

日時：10 月 15 日（木）13:30—15:30

ロイヤルフェスティバルホールロビー9 名出席
楽に席がとれて始まりました。

カモメ飛ぶ入江に浮かぶ木の実かな

日出美ヴァンダースケーフ

細枝にたわわな木の実おもたげに

富美子マスイー

次回 11 月 19 日（木）

『冬来る』が季題となります。

問い合わせ先：クーパーのり子

☆ ☆ ☆

文集部からのお知らせ

『英国春秋』秋号（Issue27）が完成いたしました。ご投稿いただいた皆様大変有難うございました。一般会員の方々へは文集郵送済み、また E 会員の方々には JA ウェブサイトでそれぞれお楽しみいただければ嬉しいかぎりです。次回春号は下記要項で募集致しますので、奮ってご投稿下さいますように。

『英国春秋』2016 年春号

タイトル：フリー又は春号特集「私の好きな場所、町、街、国」

原稿締切：2016 年 3 月 21 日（月）

但し、締切前後に集中するくらいがありますので、原稿は常時受け付け

枚数：A4 2~3 枚（出来ればワード・明朝・10.5 添付）

送付先：ogawa-n@orbixmail.co.uk 又は

Mrs M Hodgson, 492 Canterbury Way, Herts. SG1 4ED

☆ ☆ ☆